

# ダーツを始めて1ヶ月半C3の壁を超えられなかった私が、急にダーツがブルに吸い込まれるようになり、その後2週間でB8にステップアップした理由とは？

こんにちは

M-Darts 店長です。

ダーツをやっていれば、誰しものが壁にぶつかります。

センスがあって、2ヶ月そこそこでAフライトに駆け上がったとしても、その後維持ができない。

実はそんな壁も存在するんです。

そんな中、私は最初から壁にぶち当たったタイプです。

私はダーツを初めて1ヶ月半ほどC3の壁を超えられずにいました。

今思うと壁でも何でもなかったのですが、当時は巨大な壁に感じていました。。

しかし、私はダーツで重要だと思われる、ある要素を思いきって捨てた時・・・劇的に変わりました。

行きつけのダーツバーのメインのマシンはフェニックスというマシンです。  
そして、フェニックスでのC3といえば・・・すごく下手なレベルです。

私も、そのダーツバーでは屈指のできない奴だったんです。

ダーツを始めて、その日にはC4になる人だっています。

言ってしまうと、C3を抜けることというのは人によっては、**それくらい簡単なこと**だったりするんです。

それなのに私と来たら、1ヶ月半もかかってしまいました。

## どうせ、練習を全然していなかったんでしょ？

普通に考えたら、そう思ってしまうよな。

しかしながら、自分で言うのも何ですが結構投げている部類だったと思います。

毎日のようにダーツバーに通いつめていましたからね。  
華の金曜日なんかは、仕事終わりの6時から12時までとか投げていました。

それなのに上達しないとか、本当に異常としか言えませんでした。

これだけ通いつめて、量を投げて入れば、

**1ヶ月もあればBにいく人もいますし、CCC6とかまでは多くの方がいきます。**

そんな中C3って。  
なんなんだ。この差は？

正直、絶望的にセンス無いんじゃない？なんて頭によぎってました。

そして、自分への失望と苛立ちがありました。

というのも、自分で言うとは気持ち悪いんですけど、

**私は運動が苦手じゃないんです。**

むしろ、投げるとか蹴るとかが割りと得意です。

だから、昔からスポーツは、いつもある程度は上手くできたんです。

なのに、ダーツときたら。。

こんなに上手くないのは、初めてだったかもしれません。

だからこそ、それくらい極端に思ってしまったんだと思います。

それに、下手ではありましたがダーツにすごいハマっていましたし、大好きになっていたんです。

ブルに入った時の快感や、01で先に上がって勝つ時の快感。

たまらなかったんですよ。

だからこそ、自分の事を悲観してしまった部分もあったと思います。

普通、ダーツが下手だからといって失望とかしないでしょ？大袈裟すぎでしょ？

でも、自分的には本当に悩んだし辛かったんです。

例えば、

「最近ハゲてきてショックやわー。」と悩む人もいれば、

「ハゲてますけど何か？」と気にならない人もいます。

実際、私はハゲに関しては「ハゲてますが何か？」というタイプです。

**あなたはどうですか？**

どうでもいいですよ。こんな話。

失礼しました。

で、何が言いたかったんだ？って話なのですが、

やっぱり、人によって悩んだり凹んだりする部分で違うんです。  
私の場合は、ハゲることよりダーツが上達しないことに悩むということです。

もっとできると思っていた分  
更に凹んだという部分もありますけどね。

だって、後から始めた後輩に一週間とかで抜かれるんですよ？  
そして、対戦でもなかなか勝てない。

「もう一回お願い m(\_ \_)m」って頭を下げるのは屈辱です。

私は負けず嫌いですからね。

そして、冗談でも「しゃーないな(´ε`)」なんて言われるのは本当に悔しかったです。

冗談が冗談に聞こえないよ・・・みたいな。

あの悔しさは、今でも忘れられません。  
まあ、その悔しさが後の原動力になったのですが。

そんな、悔しい思いをしていたのですが、

ある時、あるきっかけで**嘘のようにB8まで2週間で上がったんですよ。**

何故、急激に上がったのか？

実はダーツのDVDを見ていて、ちょっとした気付きがあったんです。  
そして、**ダーツで重要だと思われる要素を思い切って捨ててみたんです。**

そしたら、急激にロケットの加速的に上達が加速したんですよ。

それで、何をしたのかというと

ダーツって、的を狙う競技ですよ。

その、真逆のことをしました。

## 狙うことをやめたんです！

へ？って感じですよ。

でも、そうすることによって、

急に肩が軽くなりました。

気持ちも楽になりました。

そして、ダーツの飛びも良くなりました。

更に、疲れも減ったという。。

その結果、失投が減ったんです。

つまり、今までは必要以上に狙いすぎていたということです。

狙いすぎて、体がガッチガチになっていたんです。

ブルって直径何センチだと思います？

あれって、約4センチなんです。

そんな狭い的を狙える実力も無いのに絶対に入れる！

3投入れてハットリック出すんだ！なんてカんで投げているわけです。

正直力んでいる気はなかったのですが、あの小さい的に一生懸命意識を集中していたがために自然と力んでいたんですね。

これが、本当によろしくなかったんです。  
投げるといふ行為に、カミはすごい天敵ですからね。

ですので、こう考えたんです。

**ブルを狙うんじゃなくて、あの周辺を狙おうと。**

自分の実力じゃ入らんのだから、とりあえず寄せてみよう。  
トリブルの内側に入れば OK みたいな。

そして、ハットリックや LOW TON を狙うんじゃなくて、とりあえず一本入れていこう！みたいな軽い気持ちにしました。

これが、**効果テキメン**だったんですよ。

気持ちも軽くなり、肩も軽くなりすごくいい感じに投げれるようになったんですよ。

これを意識しだして、その日にはC51になりましたよ。

自分でもビックリしましたよ。

これまでの、**悔しい1ヶ月半はなんだっんだ！**って感じでした。

スゴイ真面目にスティックに的を狙っていたがために、逆に狙い通りに投げられないみたいな。

もう、アホみたいですね。

そこからは、快適に同時期に始めたライバルに追い付きました。

2週間で追い付けたのは、すごく気持ちよかったです。

だって、あいつ全然上達しないよな。

センスが無いね。

なんて、冗談で言われていたわけで、

「見たかコノヤロー」って感じてしたね。

ああ。

あの時の自分に声を掛けたいです。

「初心者なんだから、そんなに気張ることはないよ。」と

「絶対にこうするんだ！とかじゃなくて、もっと純粹に楽しむべき」だよ。

もしも、何か月も投げてCを抜けられていないのなら、あなたも知らず知らずの内に力んでいるだけ  
かもしれません。

焦りや、なんで自分は上達しないの？

そんな思いが無意識に体を氷つかせているのかもしれません。

一度、小さい的を点で狙うのをやめて、大きく捉えて周辺を狙ってみませんか？

そして、その幅を徐々に狭めていく感覚です。

これでCはいとも簡単に抜けられます。

ああ。。

もっと早く気づけば

1ヶ月とか無駄にしなかったな。。

なんて思ってしまうのですが、こうやって最初から壁にぶち当たったことによって、1つの解決策が伝えられるので良かったのかもかもしれませんが。

だって、なんのつまづきもなければCをどうやって抜けたのか？  
自分でもわからないじゃないですか？

こうやってお伝えできるのだから、ちょっとだけ苦労した甲斐があったというものです。

なんか、Cから抜けられないんだよなあ・・・  
という場合は是非試してみてください！

下記からダーツ上達メルマガに登録できます。

<http://blog.m-darts-style.com/cop>

読むだけで変わる下記のコンテンツをプレゼント中です！

・**Aフラ**のプレイヤーでさえ、意識していないダーツの基本  
グリップ～フォロースルー

・**中級者**になった私が**中級者**を抜けだせなかった理由  
私がやっていた**間違った2つの所業**とは？